



OB総会で挨拶する安田敬一OB会長

第10回全国大会旭川大会(1961年)にて、写真中央  
眼鏡姿が安田先輩。右隣は奥様第10回全国大会旭川大会にて、仕事とJCでお世話  
になった岡田吉朗先輩(中央左側)と記念撮影

1961年9月21日／認承証伝達式記念撮影

## 千葉JC [千葉]

# 安田先輩を先頭に、初心を忘れず 現役を支援していきたい

## 千葉

JCは、1960年に全国195番目のLOとして設立されました。

現在、政令指定都市である千葉市の人口は93万人ですが、当時は24万人でした。

まちとともに成長した千葉JCは480名を超えるOBを輩出し、現在も地元の政財界で活躍をしています。

本年、千葉JC OB会長に就任された安田敬一先輩(第7代理事長・初代千葉ロック会長)から創立時

のお話を聞いてまいりました。

東京JCが創立間もないころ、後に千葉JC初代理事長となる飯豊周二先輩が同業者であった三輪善兵衛先輩(東京JC初代理事長)から「JC」の設立を勧められ、設立準備を始めましたが、諸問題により設立までに至りませんでした。それから約8年後、JCと関わりのなかつた安田敬一先輩に熱心にJCの設立を勧めてくれる他県の同業者の先輩

たちがいました。川崎JC OBの岡田吉朗先輩(初代理事長、日本JC副会頭)、熊谷JC OBの八木橋本次郎先輩(初代理事長)、四日市JC OBの岡田卓也先輩(第6代理事長)でした。JC活動の素晴らしさを聞いた安田先輩は「JCを作らなければ、千葉は活性化しない」と確信し、1960年7月に47名の仲間とともに千葉JCはスタートしたのです。

安田先輩は「古い体質の経済界を

変えるんだ! 大都市に負けないJCをつくるんだ! そんな気概に燃えていたね。立派なJCを作らなきゃいけないから、認承証伝達式前に旭川の

全国大会に皆で行ってね、式典会場とか懇親会の様子を写真に撮って勉強

したよ。大会後に北海道中を旅行して回ったけど、何処に行つても大歓迎されたね。事業ではフィリピンの子どもたちを千葉に呼んだりしてね、当時のことだから大変だったよ」と昔の写真を懐かしそうに見せてくれました。

76歳になられる今も多くの公職を兼任される安田先輩は、多忙な日々を送っていますが、現役の活動をいつも気にかけていただいており、「現役にもっとも近いOB」の1人であります。

初心を忘れず安田先輩を先頭に今後ともOB会は現役を支援して参ります。

日本JCシニア・クラブ  
千葉ロック担当幹事 小黒剛